

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護支援サポーター事業			会計	款	項目	大	小
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	菊池 義博				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	要支援、要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者	意図	高齢者の社会参加を通じた介護予防の推進を図る。
事業内容	介護支援サポーターとして登録を行った65歳以上の方が市内の介護施設（特別養護老人ホームやデイサービスセンターなど）で、サポーター活動（見守り、話し相手、レクリエーションの補助、配膳など）を行った場合に、その活動実績に応じた活動評価ポイントを転換交付金、ながぼんポイントに交換できる制度である。			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年4月1日から高齢者の積極的な社会参加を通じた介護予防の取組みを推進することを目的に事業がスタートした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
①	介護支援サポーター登録者数	207	223	69	人	↑↑↑	登録者	
	②	累計登録者数		430	490	人	↑↑↑	
	③	活動者数	121	186	239	人	↑↑↑	活動実績のある方
	④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						平成27年度は、4回の制度説明会と6回の介護支援サポーター養成講座を実施した。今年度の介護支援サポーターの登録者は69名となった。	
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		8,301,407	11,801,900	12,639,733				
事業費(b)(円)		4,807,907	8,346,900	8,874,733				
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)		3,493,500	3,455,000	3,765,000				
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	介護支援サポーターとして登録したが、活動につながらないサポーターの活動につながるようなフォローアップの方法を検討していく。	③取組の課題	新規登録者が今年度は69名と昨年度までと比べて減少している。市民に向けたPRの機会を増やし、活動につなげるための取り組みが必要である。
②今年度(H27)に実施した取組	フォローアップ講座を実施した。対象者に向けてPRを行った。	④今後の改善計画	広報やホームページ等だけでなく、市民と関わる機会があれば周知を積極的に行っていく。